

平成 29 年 9 月 6 日 東村新一福井市長（ふくい春まつり実行委員会会長）へ提言

ふくい春まつり魅力向上への提言

～地域住民が参加し、楽しみ、愛する、誇りとなるまつりに向けて～

福井商工会議所

9月6日に「ふくい春まつり」での観光誘客の強化や、地元の盛り上がりをも高めるため、リニューアルプランを盛り込んだ報告書を福井市長に提言した。

報告書は、今年5月から当所の観光産業・文化委員会内に「ふくい春まつり魅力向上検討委員会」を設置し、商業、観光、メディア等の委員等20名による会議や視察等を経て、とりまとめた。

これまで32回の開催を数える「ふくい春まつり」は春の風物詩として、多くの市民に親しまれているが、本来の目的である観光誘客が弱く、メイン事業である越前時代行列もマンネリ化や参加意欲の低下などの課題が上っていた。

報告書では「ふくい春まつり」は、まつりの原点に立ち返り、“まずは地域住民が参加し、楽しみ、愛する、誇りとなるまつりとする”ことを当面の目標に掲げ、まつりの名称や会期の変更、桜のライトアップ強化、女性を主役にした時代行列への刷新などのプランが挙げられている。

提言を受けた東村市長は「北陸新幹線開業時に大切な事業であり、一緒に考え、必要なことは変えていきたい」と述べた。



東村福井市長に報告書を手渡す
野坂観光産業・文化委員長

ふくい春まつり魅力向上検討委員会報告書の魅力向上プラン

目 的	1. 観光の交流人口拡大による地域経済の活性化 2. 地域の歴史・文化・自然を再認識し、郷土の誇り醸成
当面の目標	まずは福井の地元住民が参加し、楽しみ、愛する、誇りに思えるまつりとする
コンセプト	福井市民や訪れる観光客に大きな共感を呼ぶ、まつりのシンボルを作る ライトアップで映し出される、圧倒的に「美しい桜」のまつり

◆リニューアル案

- | | | |
|---|----------------------------------|------------------|
| 1 | 桜が売りのまつりとして、わかりやすく伝わりやすいネーミング | 「ふくい桜まつり」への名称変更 |
| 2 | 期間を短縮し、予算とマンパワーを集中して、魅力あるイベントを展開 | 土日3回の16日間の開催期間変更 |
| 3 | 福井の観光資源を活かした、他県では真似出来ない事業 | まつりのコア事業の魅力向上 |

1 “ダントツ” の桜づくり

- i. 桜のライトアップに特化した夜型観光への取り組み
- ii. 桜関連事業の実施
- iii. 「福井オリジナルの桜づくり」に向けた中長期的な取り組み

2 越前時代行列の刷新

- i. 女性を主役にした新たな「越前時代行列」
- ii. まちなかの歴史スポットを巡る行列コース設定と出発時間の見直し
- iii. 参加者が楽しみ中心市街地に人が集う仕掛け作り
- iv. 俳優起用の見直し
- v. 企業参加枠の拡充
- vi. 光と音を使った五感に訴える演出
- vii. 誰もが参加できる仮装自由な隊列や市民パレードの追加
- viii. インバウンド対応の強化

- | | | |
|---|----------------------------|-------|
| 4 | 地元を中心に、個人にしっかりと伝わる広報手段の見直し | 広報の拡充 |
|---|----------------------------|-------|

本報告書は福井商工会議所のホームページに掲載しています。